

第2次香取市 総合計画

第 2 編

基 本 構 想



1 香取市が目指す方向性

1 章 香取市が目指す方向性

1 節

将来都市像



将来都市像は、目標年度である2027年度に向けた、香取市の「目指すべきまちの姿」を示すもので、第2次香取市総合計画に掲げる全ての施策の共通目標となります。

地域の特性を活かし、市民が主体となって、さらなるまちの発展を目指すため、ワークショップなどを通じて市民と行政がともに考え、香取市の将来都市像を次のように定めました。

豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取

～人が輝き 人が集うまち～

「豊かな暮らしを育む」とは…

老若男女を問わず、香取市に関わるすべての人が、日々の暮らしの中でそれぞれの希望や理想の実現に向けて、活動し活躍できるまちを目指します。

込められた想いの背景となった香取市の姿

香取市内には住民自治協議会(まちづくり協議会)やNPOなどが設立され、より良い地域を目指し、多様な立場から意見を出し合い活動することで、地域の活力を高めています。今後、少子高齢化の進行など、社会環境が変化していく中でも、自ら課題解決に向けて取り組むことで、まちづくりに関わるすべての人が活躍できる姿を表しています。

「歴史文化・自然の郷」とは…

豊かな自然と、歴史・文化などの地域資源を活かしながら、郷土の誇りと愛着を育みます。

込められた想いの背景となった香取市の姿

ユネスコ無形文化遺産に登録された佐原の大祭、山倉の鮭祭り、水郷小見川花火大会、栗源ふるさと祭りといった多くの祭りや行事、伊能忠敬翁、香取神宮、重要伝統的建造物群保存地区に選定された佐原の町並みなどが彩る歴史や文化。利根川、黒部川、小見川城山公園等の河川や公園の自然など、長い歴史に培われた文化や豊かな自然に恵まれていることが、香取市の大きな魅力となっています。

「人が輝き 人が集う」とは…

市民が健康で豊かな生活を送るとともに、市内外から多くの人が集まり交流することで、互いに高めあい、さらに賑わいに溢れたまちを目指します。

込められた想いの背景となった香取市の姿

持続可能な地域社会を目指すため、人材の育成が重要となっています。安心して豊かな生活が送れるよう、地域活動の活性化が期待されています。また、歴史・文化・自然・農産物など、多様な資源に恵まれた香取市は、様々な人々を惹きつける魅力に溢れ、訪れる多くの人々との交流によって、活性化や新たなまちづくりの展開が期待できます。



1 章 香取市が目指す方向性

2 節

施策の大綱



「目指すべきまちの姿」を実現するために、次の6つの分野を施策の大綱として定め、効率的かつ効果的に各分野の施策を推進していきます。

農業をはじめとした産業や、歴史・文化といった地域資源を最大限に活かしつつ、住んでいる人、訪れる人、これから住む人、香取市と関わりを持つすべての人々にとって魅力的なまちづくりを展開していきます。

1.産業・経済の振興 ～産業の活性化によりまちの活気を高め、賑わいのあるまちを創る～

少子高齢化の進行により生産年齢人口が減少していく中、基幹産業の活性化や新たな産業などの育成、雇用の場の確保や観光資源の積極的な活用を通じて、本市の持続的な成長を推進していきます。

- ①活力に満ちた農林畜産業の推進
- ②地域の消費を賄い雇用の受け皿となる商工業の振興
- ③地域経済の基盤となる優良企業の誘致
- ④資源の連携による新しい魅力に溢れた観光の推進

2.生活・環境の向上 ～水と緑のやすらぎを感じ、安心・安全に暮らせるまちを創る～

安心・安全に暮らせ、住み続けたいまちにするために、身近な自然との共生を促進し、災害や犯罪・事故等による被害の防止・低減を推進してきます。

- ①豊かな自然環境との共生の促進
- ②資源循環と廃棄物の適正処理の推進
- ③公園・緑地・水辺空間の適正な管理と整備
- ④地域ぐるみの交通安全・防犯体制の充実
- ⑤地域防災力の向上と消防救急体制の充実
- ⑥誰もが気軽に利用でき信頼される相談体制の強化

3.健康・福祉の充実 ～支えあい、健康で生き生きと自分らしく暮らせるまちを創る～

市民一人ひとりが、心身ともに健康で生き生きと活動し活躍するために、必要な支援やサービスを受けられる体制と、地域で互いに助け合う仕組みづくりを整備していきます。

- ①助け合い支え合う地域福祉の推進
- ②一歩進んだ介護・介護予防の推進
- ③生きがいと安心に満ちた高齢者福祉の充実
- ④安心して産み育てられる子育て支援の充実
- ⑤障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域づくりの推進
- ⑥市民生活を支える健康づくり体制の充実
- ⑦安心で安全な医療提供体制の充実
- ⑧安心して暮らせる社会保障の充実

4.教育・文化の振興 ～地域の歴史・文化を知り、未来を担う人を育むまちを創る～

将来を担う子どもたちが、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むことができるよう、教育環境の是正や高度情報化社会に対応した学習環境の整備、家庭や地域の見守り体制を充実していきます。

また、すべての市民が生きがいや地域との交流を保ち、健康で活力のある生活を送ることができるよう、いつでも、どこでも学ぶことができる環境と、主体的にスポーツに取り組むことができる環境を整備していきます。

- ①学校等の適正配置と快適な教育環境整備の推進
- ②生きる力を育てる特色ある学校教育の推進
- ③次代を担う青少年の健全育成
- ④ひらかれた生涯学習活動の振興
- ⑤市民主体のスポーツ活動の振興
- ⑥郷土を愛する心を育む歴史文化の継承

1章 香取市が目指す方向性

5.都市基盤の整備 ～安全で快適な魅力あふれるまちを創る～

安全で、快適な魅力あふれるまちを実現するために、災害に強く機能的で利便性の高い都市基盤、安心して暮らせる住環境を整備していきます。

- ①秩序ある土地利用の推進
- ②機能的で賑わいのある市街地の整備
- ③また訪れたい魅力にあふれた町並みの整備
- ④安心して暮らせる住環境の整備
- ⑤暮らしと産業を支える道路網の整備
- ⑥身近で利便性の高い公共交通体制の整備
- ⑦安全な水を安定して供給する水道の整備
- ⑧快適な暮らしと水環境をつくる下水道の整備

6.市民参画・行政の取組 ～みんなが力を発揮して将来に続くまちを創る～

人口減少や少子高齢化が進行する中、行政サービスの質と量を維持しつつ、将来にわたって持続可能なまちを実現するために、限られた経営資源を効率的に活用し、市民や企業等と行政との連携をより深めたまちづくりを推進していきます。

- ①市民が主体となった地域づくりの推進
- ②すべての人が平等な人権尊重社会の実現
- ③市民の感性や想像力を高める多様な交流の推進
- ④市民とのコミュニケーション手段の充実
- ⑤効率的で効果的な行財政の運営

3節

まちづくりの基本姿勢



将来都市像である「豊かな暮らしを育む 歴史文化・自然の郷 香取 ～人が輝き 人が集うまち～」の実現に向け、本市のまちづくりを効果的に進めるため、次の3つの考え方に基づき取り組みを進めます。

【人との繋がり の醸成】

市民や行政など、本市に関わるすべての主体が、ともに考え、責任を共有しながら、まちづくりを進める必要があります。そのためには、これまで以上に連携を進めるとともに、自治会や住民自治協議会などの活動を通じた人の繋がり の醸成や、様々な活動を実施している団体等とのさらなる連携の深化が必要となります。そこで、これまでの「市民協働」の考えや取り組みをさらに拡充して、本市に関わるすべての主体が互いに協力できる体制を構築することで、将来都市像の実現に向けた取り組みを推進します。

【香取らしさ の追求】

地域間競争がますます激しさを増す中、他にはない「香取市らしさ」を追求する必要があります。本市への移住や観光等の来訪者の拡大を目指すためには、地域間の競争が進む中においても独自性を発揮できるよう、本市の優れた地域特性や特色を最大限に活かし、将来都市像の実現に向けた取り組みを推進します。

【効率的な行財政運営 の推進】

人口減少による税収の減少など、本市の財政は縮小化が避けられない状況となっています。また、合併による優遇措置の終了や合併特例債や臨時財政対策債に対する元利償還金が増大し、財政状況が一層厳しくなることが見込まれます。そこで、限られた財源を有効に活用するために事業の優先順位付けを行うなど、選択と集中を進め、将来都市像の実現に向け、今まで以上に計画的かつ効率的・効果的な行財政運営を推進します。

